

会議結果のお知らせ

令和5年度第3回宮古市男女共生推進委員会を、次のとおり開催しました。

令和5年9月15日

宮古市男女共生推進委員会

- 1 開催日時
令和5年8月25日（金） 14時～15時
- 2 開催場所
宮古市役所 4階特別会議室
- 3 議題
(1) 宮古市パートナーシップ・ファミリーシップ制度（案）のパブリックコメントの結果等について
- 4 会議の概要
別紙会議結果報告書のとおり
- 5 問い合わせ先
市民生活部生活課男女参画・協働推進係 電話：68-9080

令和5年度第3回宮古市男女共生推進委員会会議結果報告書

- 1 日 時 令和5年8月25日（金）午後2時00分～午後3時00分
- 2 場 所 宮古市役所 4階特別会議室
- 3 出席委員（7名）
寶由夫、千葉康佑、盛合敏子、宮城貞子、梅澤良子、畠山りか、腹子摩裕美
- 4 欠席委員（7名）
鈴木将人、伊藤ひろみ、姉石誠司、吉水和也、相馬健士郎、伊東喜幸、伊藤清香
- 5 事務局等出席者（5名）
市民生活部長・若江清隆、生活課長・川原栄司、
同課副主幹兼男女参画・協働推進係長・小向和美、同課主査・名取綾子
同課会計年度任用職員・中島奈穂子
- 6 傍聴者
1名
- 7 議事等
午後2時00分、生活課長が委員会の開会を宣言。
市長挨拶
男女共同参画社会の形成に関する案件について協議いただく重要な組織。市では、パートナーシップ制度導入決定、9月導入を目指す。本日は制度案に対するパブコメの報告結果等を用い、皆様にはご協議いただきたい。
自己紹介
議長選出
委員長から挨拶後、委員長が議長となり会議進行。
- 8 委員長挨拶
顔ぶれも新しくなった。いろいろな立場の方がいらっしゃる。それぞれの立場から意見をいただきたい。
- 9 協議（概要）
(1) 宮古市パートナーシップ・ファミリーシップ制度（案）のパブリックコメントの結果等について
【事務局説明】資料に沿って説明
[委員長]
パートナーシップ・ファミリーシップ制度（案）にかかるパブリックコメントの結果等について説明いただいた。ご意見、質問等をいただきます。
[委員]
以前に配布した資料の様式第2号（第4条関係）の様式「宮古市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓書」について、ファミリーシップの対象者欄を、どちらのパートナーに由来するものなのかを分けた方が良いのではないかと。
[事務局]

ファミリーシップ対象者を、宣誓者毎にそれぞれに分けた方がいいということか。各自治体の事例を確認のうえ検討する。

[委員]

承知した。

[委員長]

岩手レインボー・ネットワークを通じ依頼したという記載があるが、反響、返答があったか。

[事務局]

盛岡市の団体であり、宮古のマイノリティの方とは直接的には話できていない。

[委員長]

愛知県議が台湾人と同性婚の婚姻届けをしたという報道があった。アンテナを高くするとともに、我々が先回って考えてあげられればと思う。今は男女という区分け自体がNGである。9月に導入されるファミリーシップ制度は様子を見ながら加除修正を加えるということによろしいか。

[[「はい」の声]

(2) その他

[委員長]

意見、質問をいただきたい。

[委員]

男女ともに「さん」付けで呼ぶのが普通となっている。宮古市は性別にとらわれることなく、こういったことをわかってくれる住みよい街であることをいかに周知できるかということがポイントであると思う。

[委員]

昔よりは受け入れやすくなっていると思う。まだ、女性蔑視的な、地域の自治会の役に女性を付かせない雰囲気があるので、委員からの周知でなく、高齢者の多い地域ほどプリントなどによる周知なども必要である。

[委員]

宮古市でパートナーシップの相談を受けるときは、生活課で受けるのか。相談室で受けるのか。簡単な問題ではないので、じっくり話を聞いていただける環境が必要である。パートナーシップの相方が亡くなった場合、相続受けることができなかった、という記事があった。しっかり相談に乗ってほしい。

[委員]

周りにそういう方がいないと理解が進まない。周知に力を入れ、進めていくうちに必要に応じて柔軟に対応して欲しい。

[委員]

この委員にならなければ、考えることもなかったような内容である。該当者の方が就職した場合の就労規則を対応させなければならないのか、等を意識した。

[委員長]

民間サービスをどこまで広げればいいのかなどは今後の課題である。

貴重な意見ありがとうございます。

この会そのものがあってよかったと思えるように取り組んでほしい。

午後3時 閉会